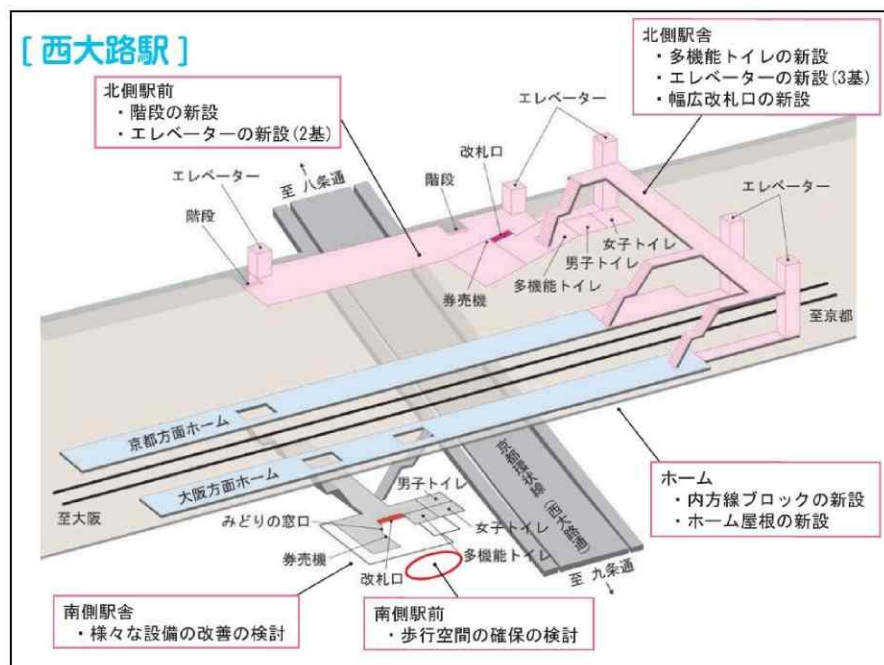


平成 29 年度のバリアフリーに関する取組について

駅のバリアフリー化等（JR西日本）

- 平成29年3月に策定した「西大路地区バリアフリー移動等円滑化基本構想」に基づき，西大路駅のバリアフリー化の概要等を詳細に検討するための設計等を実施
- 併せて，1日平均利用者数1万人／日以上以上の駅のホーム上の安全対策として，内方線付き点状ブロックを早期に整備（西大路駅，嵯峨嵐山駅，円町駅，丹波口駅）



西大路駅のバリアフリー化の概要



嵯峨嵐山駅の内方線付き点状ブロック完成写真

駅のバリアフリー化等（近鉄）

- 平成28年度末に向島駅の内方線付き点状ブロックの整備が完了し、市内の利用者数1万人以上／日の全駅で内方線ブロックの整備が完了。併せて、自社事業として実施した線路工事により、車両とホームのすき間を解消
- 平成29年度以降、京都府下の駅において、バリアフリー化整備等を順次実施



向島駅の内方線付き点状ブロック完成写真

平成29年度の取組（京阪） ※事業者独自の取組

- 伏見稲荷駅において、上下ホームトイレの段差解消や個室の洋式化、音声案内の整備等のバリアフリー化を含めた駅のリニューアル工事を実施



駅のバリアフリー化等（阪急①）

- 平成26年3月に策定した「西院地区バリアフリー移動等円滑化基本構想」に基づき、阪急・京福西院駅のバリアフリー化と乗継利便性向上のための整備を実施
- 平成29年度は阪急西院駅の既存の駅舎の解体や改札口とホームを結ぶ地下連絡通路工事等を実施



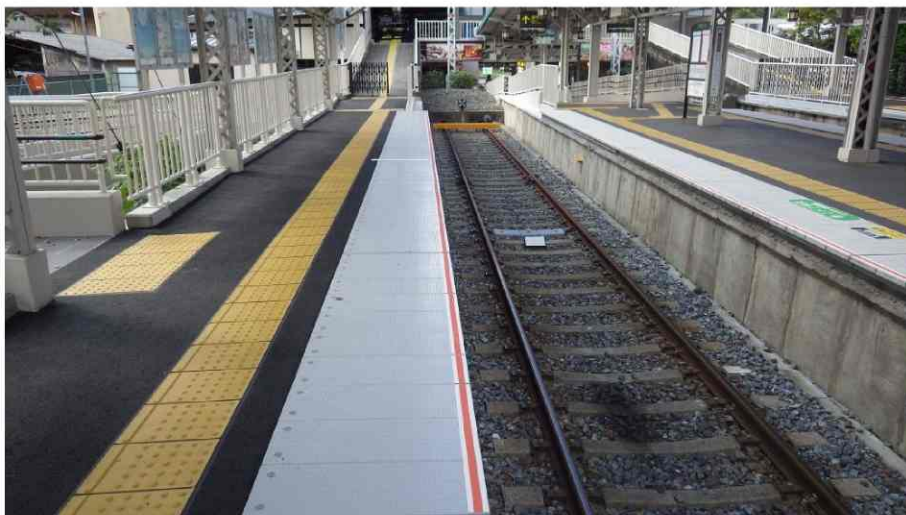
（阪急西院ビル）南側躯体解体状況



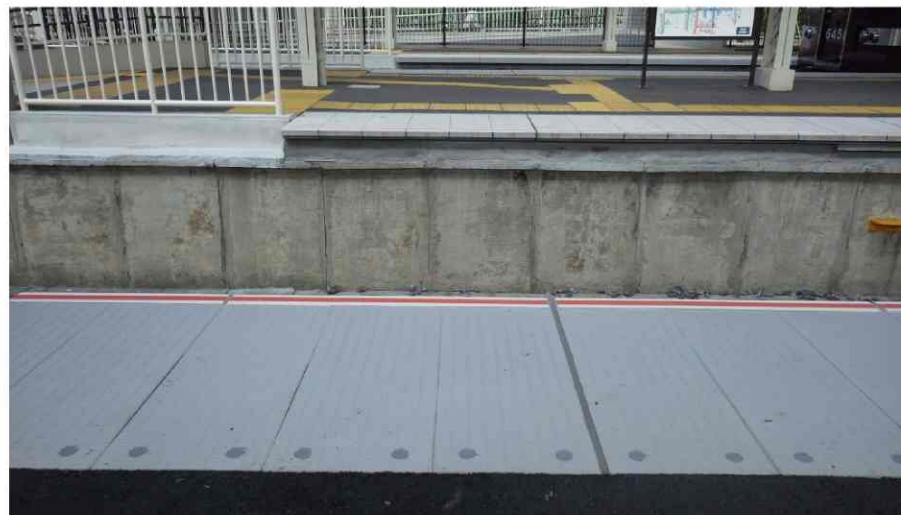
（阪急下り線側）地下連絡通路構築状況

駅のバリアフリー化等（阪急②） ※事業者独自事業

- ホームからの転落防止対策の一環として、ホームの縁端部視認性を向上させる「ホーム縁端ライン」を順次設置している（京都市内では、今年度、嵐山駅において設置）。
- 嵐山駅では、車両とホームの段差を解消するため、臨時ホームのかさ上げを併せて実施した。



嵐山駅（臨時ホーム）
縁端ライン設置状況①

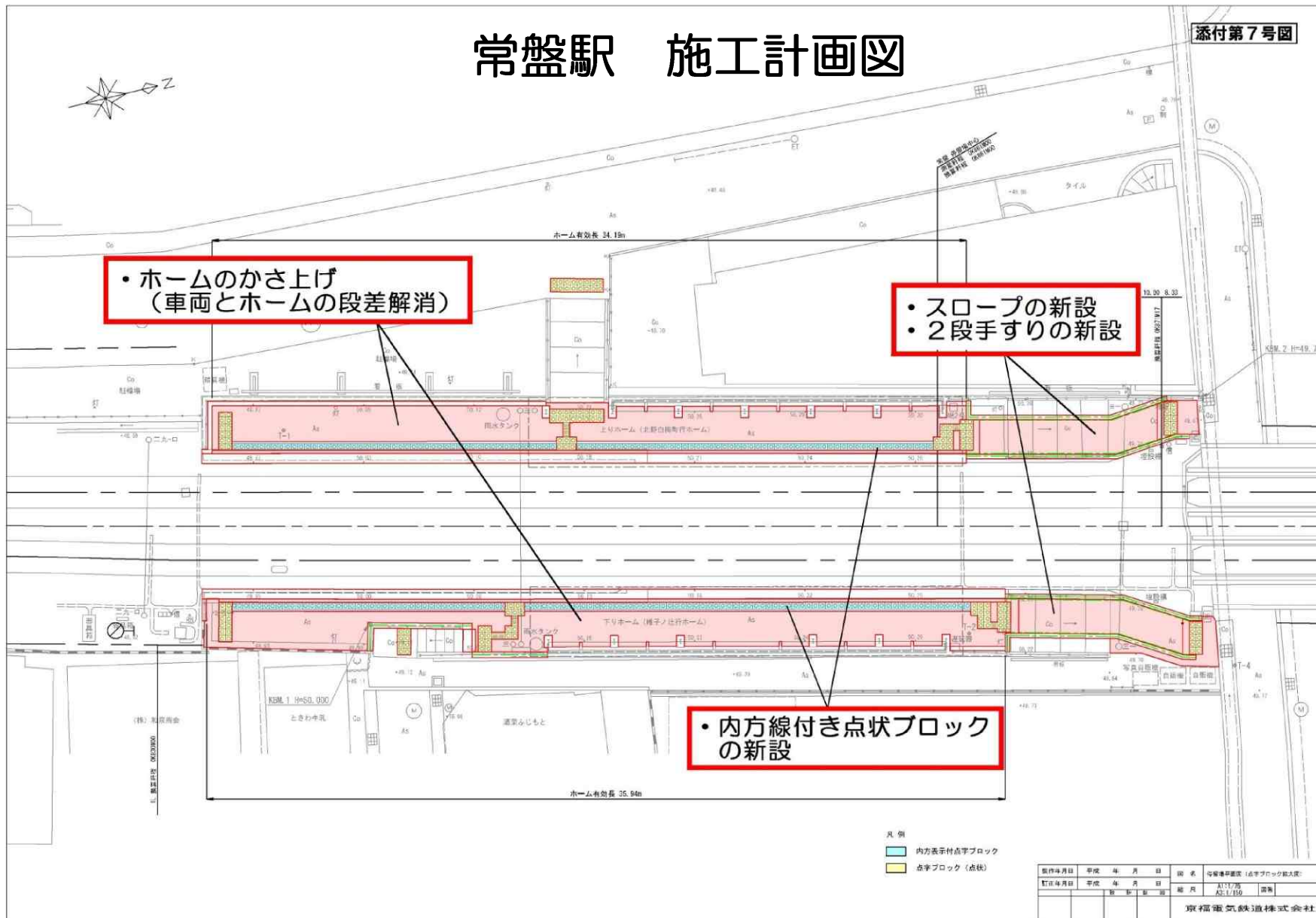


嵐山駅（臨時ホーム）
縁端ライン設置状況②

駅のバリアフリー化等（京福）

常盤駅 施工計画図

添付第7号図

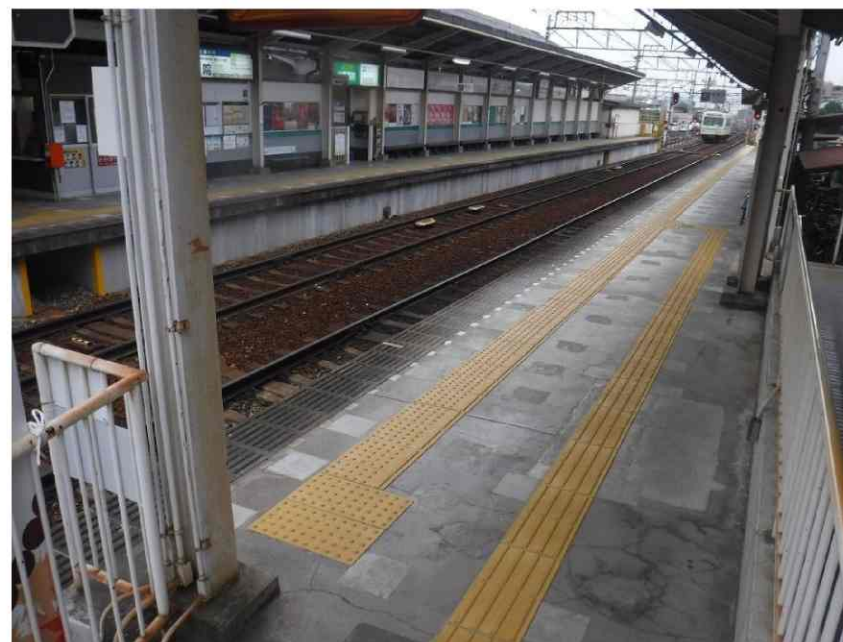


駅のバリアフリー化等（叡電①）

- 叡山電鉄では，ホームの補強・補修に合わせてスロープの設置等によるバリアフリー化を順次実施中
- 修学院駅において平成28年度，29年度の2箇年にわたり内方線付き点状ブロックの新設，ホームのかさ上げ等を実施



修学院駅 出町柳駅方面ホーム



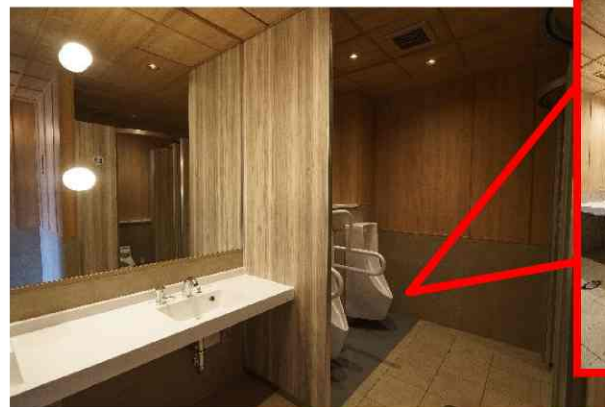
修学院駅 鞍馬駅方面ホーム

駅のバリアフリー化等（叡電②）

- 平成29年3月24日に約2箇月間の工程を経て，出町柳駅トイレリニューアル工事が完了し，使用を開始した。
- 老朽化したトイレをリニューアルすることで，視覚・身体障がい者，高齢者，妊婦，外国人旅行者を対象としたバリアフリーを実現した。



柳・紅葉・桜を使用したトイレサインや京都洛北の落ち着いたイメージの表現など周辺環境との調和に配慮



広いスペース（2m四方）を確保し，手すり，オストメイト，乳幼児のおむつ交換台を設置



円形のドアにすることにより，ベビーカーの出入りにも配慮

駅のバリアフリー化等（叡電③）

- 平成29年7月19日，出町柳駅にホームへの転落を防止するため，固定柵と内方線・点状ブロックを設置した。



路線カラーに合わせて，叡山本線で使用する1番線の固定柵にはみどり色を，鞍馬線で使用する3番線の固定柵にはあか色を塗って，わかりやすくしました！

平成29年度の取組（交通局①）

【地下鉄車両】優先座席エリアのリニューアル

- 優先座席について、必要とされる方がこれまで以上に御利用しやすく、そうでない方には明確に認知していただき、譲っていただきやすくなるよう、優先座席設置区画（優先座席エリア）のリニューアルを平成29年度内に全編成（烏丸線車両20編成，東西線車両17編成）について実施。
- 4箇国語（日・英・中・韓）表記の床貼シートを設置。また，吊手をオレンジ色に変更するとともに，妊婦の方や高齢者に配慮して，つかまりやすい高さに引き下げ。

リニューアル後（烏丸線）

リニューアル前
（烏丸線）



床貼シート



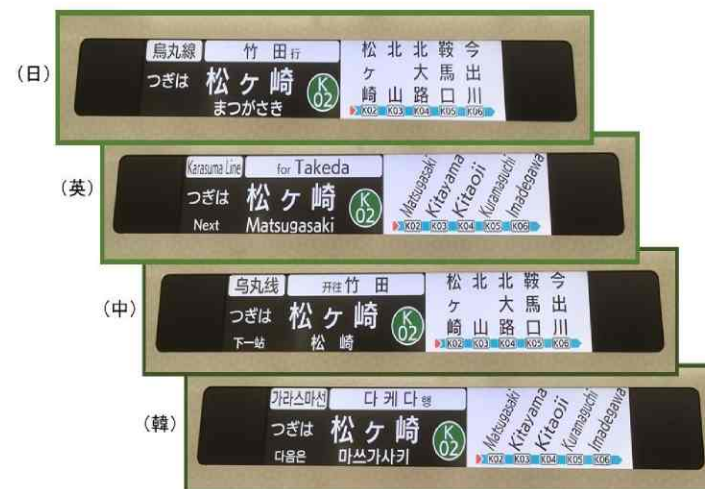
平成29年度の取組（交通局②）

【地下鉄車両】案内表示器の更新

- 聴覚に障害のある方や外国からお越しの方をはじめ、全てのお客様により見やすく充実した案内を目指し、車内の案内表示器と車外の行先表示器を4箇国語（日・英・中・韓）表示が可能な機器へと更新（一部新設）。
- 烏丸線は車両更新時期が近い9編成を除く11編成，東西線は全17編成について平成29年度から32年度までの4年間で順次実施。

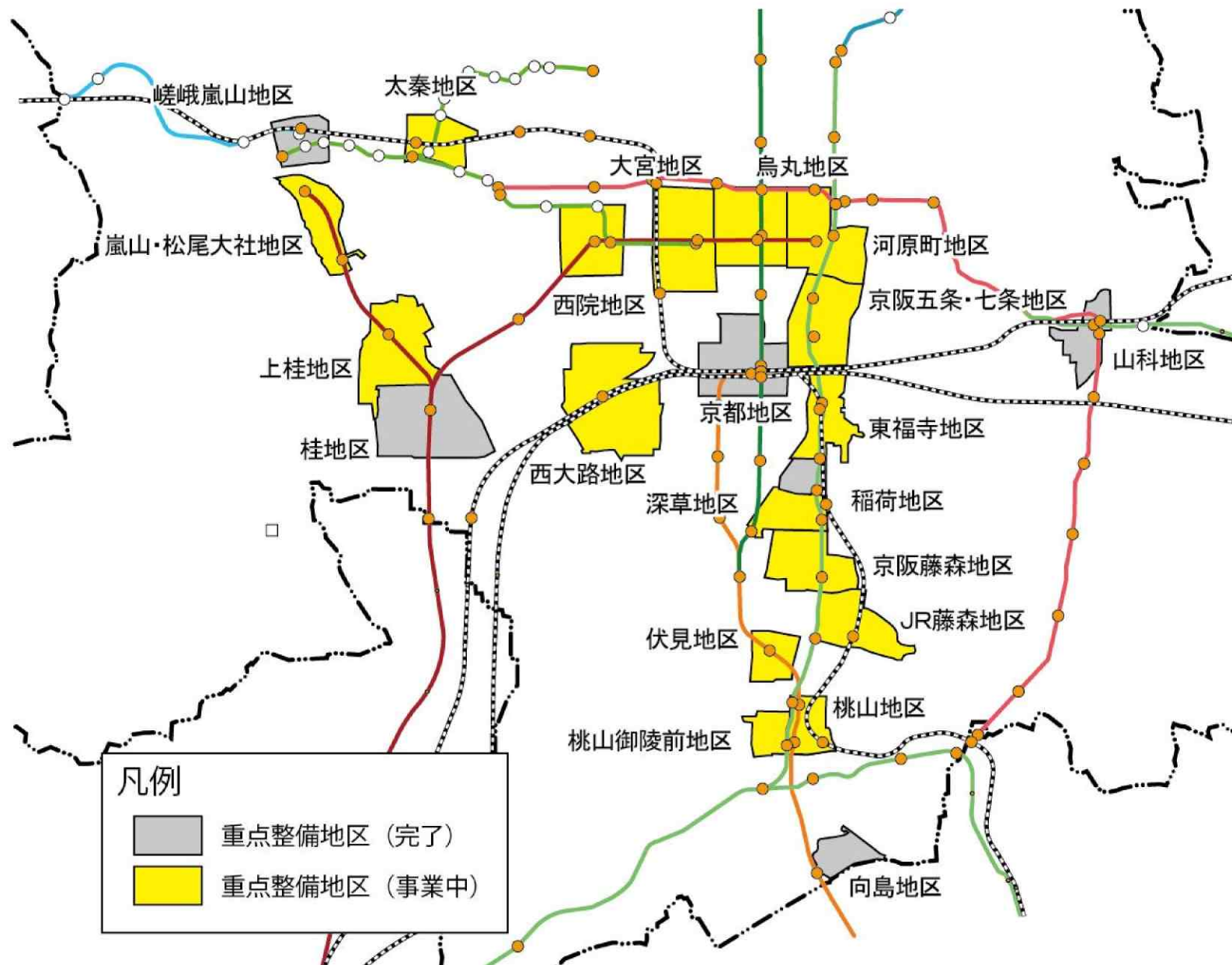


更新後の行先表示器
（左：正面行先表示器，右：側面行先表示器）



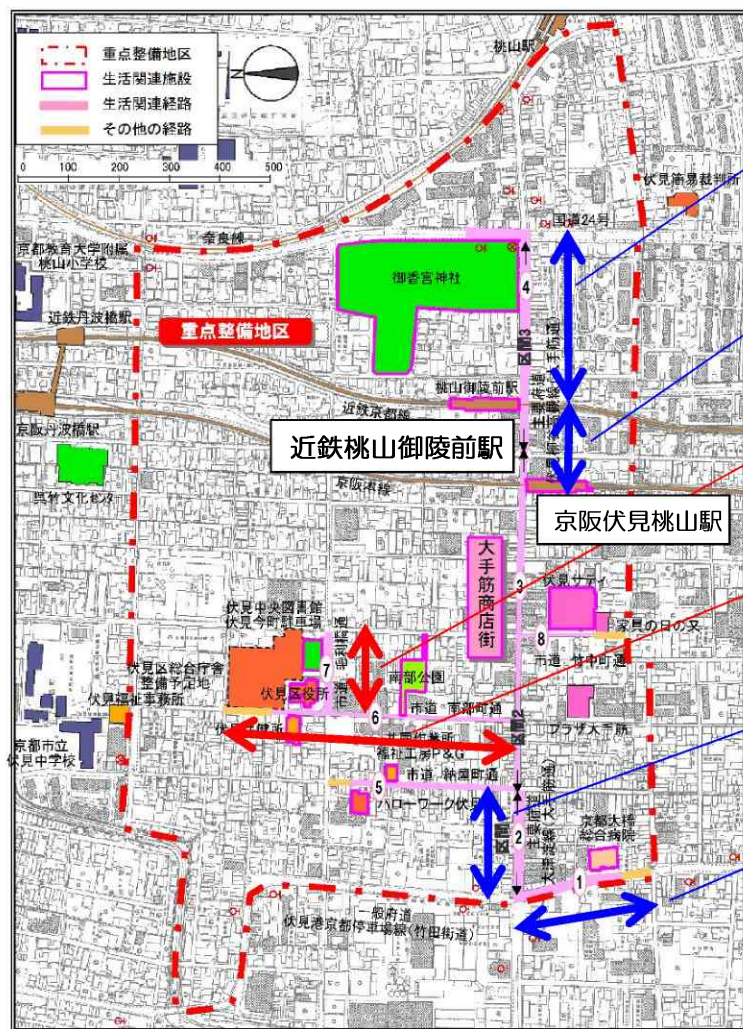
更新後の車内案内表示器

道路のバリアフリー化



道路のバリアフリー化（桃山御陵前地区）

- 「桃山御陵前地区道路特定事業計画」（平成19年度策定）に基づき、順次、歩道の段差や勾配の改善等の工事他を実施中



主要府道伏見柳谷高槻線
（測量・設計）

主要府道大津淀線（測量・設計）

一般市道毛利橋通（工事）

一般市道南部町通（工事）

主要府道大津淀線（測量）

一般府道伏見港京停車場線（測量）

平成29年度実施箇所

道路のバリアフリー化（桃山御陵前地区）

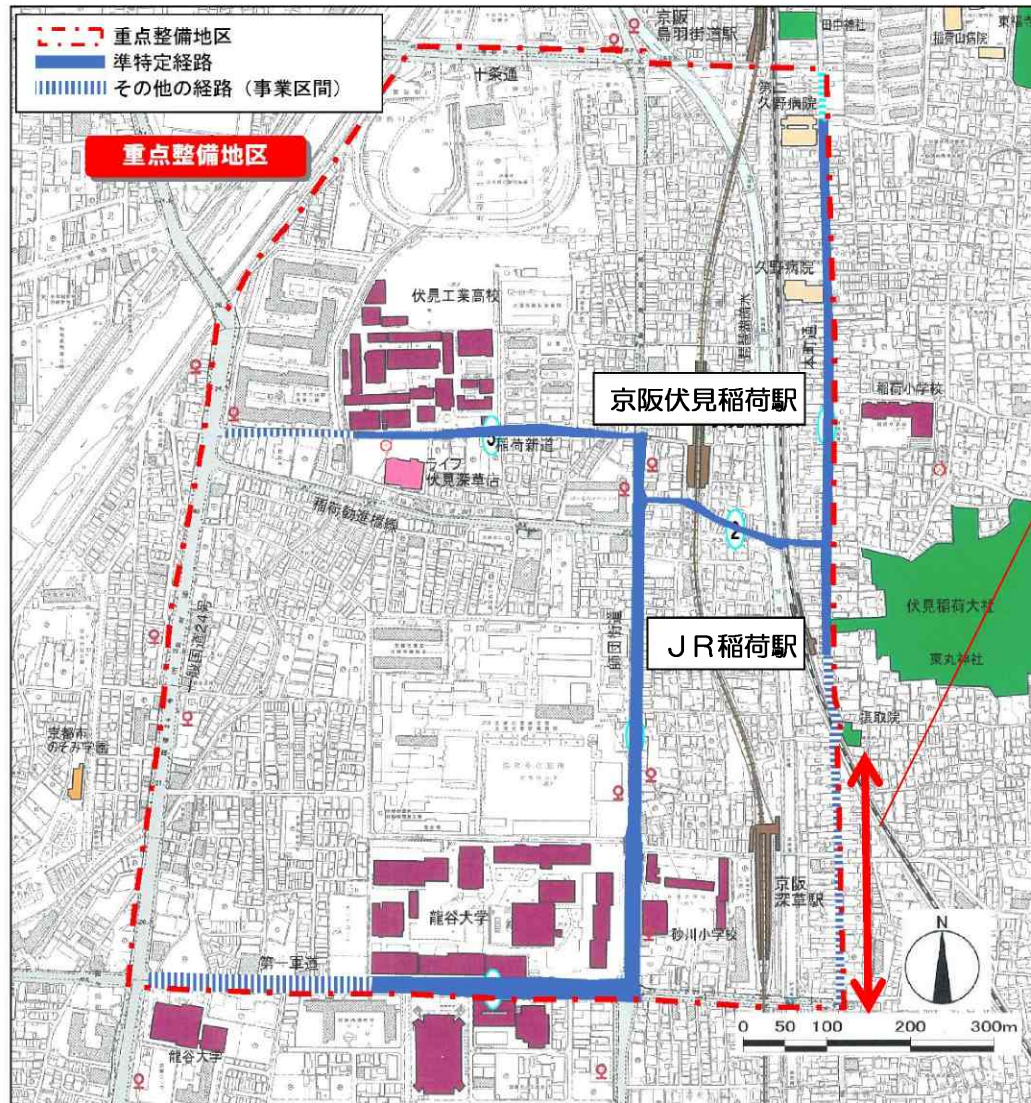
- 一般市道毛利橋通において，歩道幅員の拡幅，段差や勾配の改善等の工事や，主要府道大津淀線（大手筋通）他の測量・設計を実施

毛利橋通の施工前後写真



道路のバリアフリー化（稲荷地区）

- 「稲荷地区道路特定事業計画」（平成18年度策定）に基づき、順次、歩道の段差や勾配の改善等の工事を実施



- 平成29年度実施箇所
一般府道中山稲荷線（本町通）
（工事）

道路のバリアフリー化（稲荷地区）

- 一般府道中山稲荷線（本町通）において，路側帯にカラー舗装を施し，歩行空間の明確化等の工事を実施
- 当該経路の工事完成をもって，稲荷地区の全ての生活関連経路のバリアフリー化が完了



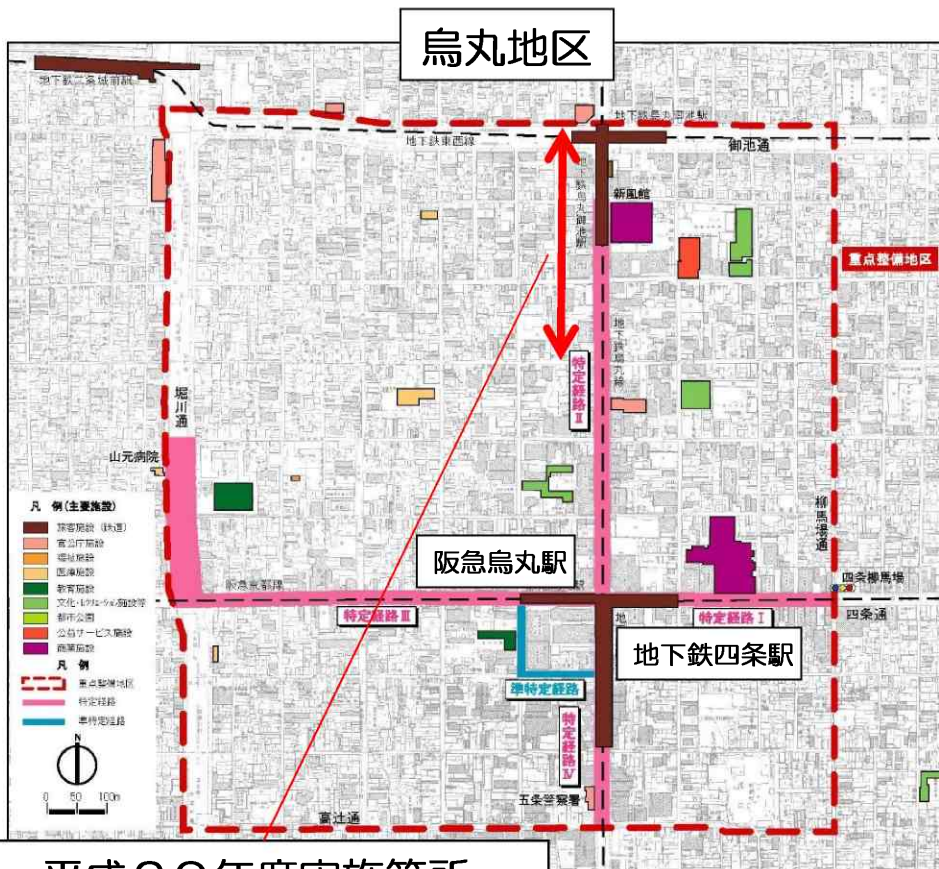
道路のバリアフリー化（京阪藤森地区）

- 一般市道本町通において，路側帯にカラー舗装を施し，歩行空間の明確化等を実施

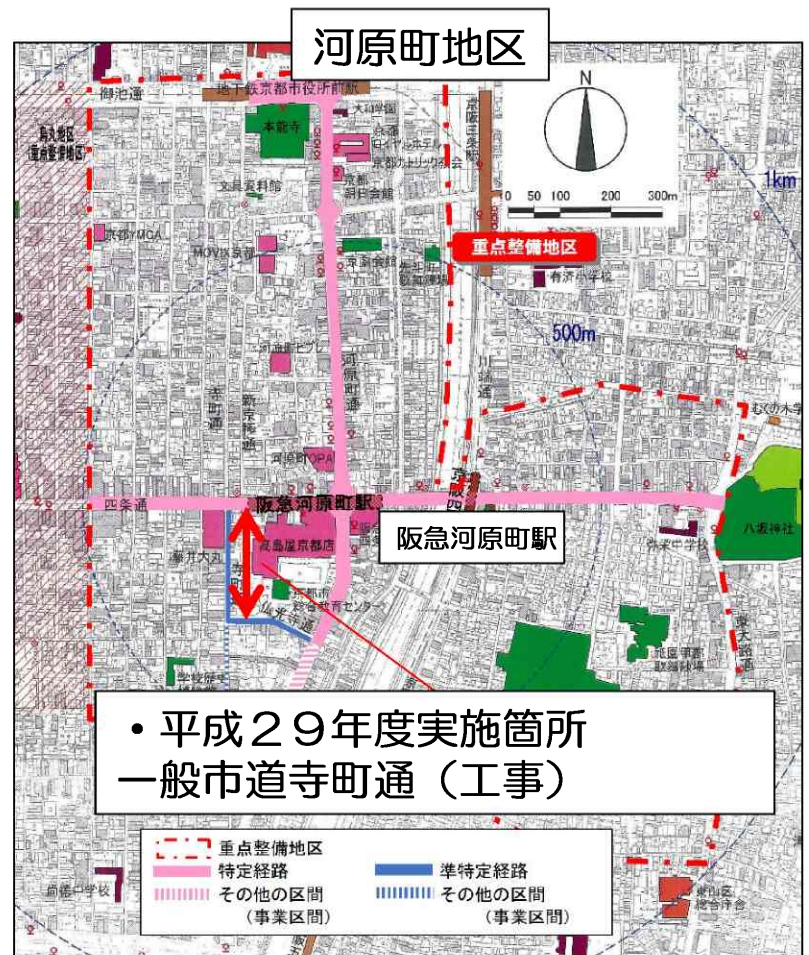


道路のバリアフリー化（烏丸地区，河原町地区）

- 各地区の「道路特定事業計画」に基づき，以下の工事を実施
 - 一般国道367号（烏丸通西側）の歩道の段差や勾配の改善等
 - 一般市道寺町通の路側帯のカラー舗装による歩行空間の明確化



• 平成29年度実施箇所
一般国道367号（烏丸通）
（工事）



• 平成29年度実施箇所
一般市道寺町通（工事）

